



令和6年1月発行  
中濃県事務所 振興防災課 振興防災係  
家庭教育担当：塚原  
〒501-3756 美濃市生櫛 1612-2  
TEL：0575-33-4011 (内線210)  
FAX：0575-35-1492

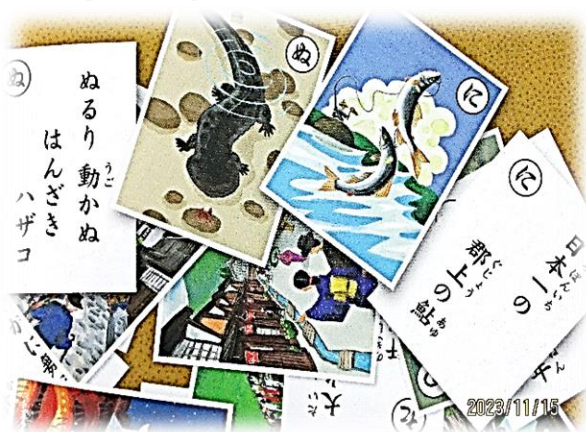
# ふるさとに学ぶ 親子郡上かるた大会 ～「郡上の心」を綿々と引き継ぐ～

## 家庭教育学級の取組紹介 ～郡上市立八幡小学校～

### 【開催に至るまで】



「郡上かるた」は、平成16年の町村合併を機に、市民に「新しいふるさと郡上」をもっと知り、好きになってもらい、誇りをもってほしいという願いを込めて、平成23年に「読み札」を一般募集して作成されたものです。今では、郡上市の小中学校で、積極的に活用され、多くの子どもや大人も参加して、白熱した「郡上かるた大会」も開かれています。11月14日は、家庭教育学級（1年生）で「親子郡上かるた大会」を開催し、親子一緒に楽しみました。



### 【当日の様子】



学級長さんの挨拶・司会で、かるた大会が始まりました。会の進行から読み札を読み上げる役まで、すべて学級長さんがスムーズに進められました。



1回戦目は、子どもたちだけで対戦。手は頭の上でスタンバイ。読み上げられると同時に、「はいっ！」と元気に絵札を取っていました。



2回戦目は、親子で対決。さすが郡上市のお母さんたちはかるたの句をよく覚えてみえて、子どもと一緒に対戦されていました。



「絵札」が少なくなってきたり、対戦を重ねたりするにつれて、遠くにある札を飛び込んで取ったり、上の一文字が読まれただけで取ったり、同時の時はじゃんけんで決めるなど、白熱した姿が見られました。郡上かるたが、子どもたちだけではなく、家庭の中にも浸透して大切に引き継いでみえることを実感しました。

#### 【参加者の感想】



- かるたをしてこんなに盛り上がるとは思っていませんでした。大人が本気でやっても負けてしまうくらいで、子どもたちの力に驚かされました。「郡上ならではの言葉」が多く使われているので、1年生でも日常的に親しめる「郡上かるた」はありがたいなと思いました。
- 「お母さん、ナイス～！」「やったあ～！」などと親子で声をかけあい、一緒に喜ぶことができました。1つのことに親子一緒に集中し向き合うことで、たくさんふれあうことができ素敵な時間になりました。

#### 【主催者の感想】



忙しい毎日の中で、なかなか子どもと真剣に遊ぶという時間がつくれていないので、今回はとても楽しい家庭教育学級になりました。子どもたちが真剣に取り組む姿や、友達との関わりを見ることもできました。勝ち負けに関係なく、どの親子も「とても楽しかった！」と言っているのを嬉しい気持ちで聞きました。

郡上かるたを通して、親子で郡上の文化や歴史を学んだり、かるたに登場する場所や昔話などが親子の会話にのぼったりして、みんなで地域の良さや楽しさを味わう時間になりました。

#### 【取材を終えて】



郡上市では、副読本として「郡上かるた～ふるさとに学ぶ」を発行してみえます。また、年末に開催された市主催の「第10回郡上かるた大会」も、300人を超える参加者で盛況であったとお聞きしました。

かるたを通じた家族や地域との絆、そして、かるたに込められた「郡上の心」が、これからも後世に引き継がれていくことを願っています。





# 赤ちゃんふれあい体験



## ～命の温度と柔らかさ、親の心を知る～

### 家庭教育学級の取組紹介 ～郡上市立八幡中学校～

#### 【活動の目的と内容】



郡上市では、中学校と市の児童家庭課、社会教育課、健康課が連携して行う「赤ちゃんふれあい体験」が平成20年度から続いています。思春期という多感な時期だからこそ、「命」の尊さや「子育て」の大切さを感じてほしい、任意参加ではなく授業として取り組んでほしいという市の願いを受けて、すべての中学校（3年生対象）で行われている取組みです。生徒にとっても乳児の母親にとっても、お互いに大切な体験だからと、コロナ禍にあってもオンラインで行うなど、開催方法を工夫して継続して行われてきました。今回は、12月8日に八幡中学校で行われた体験学習の様子を紹介します。

#### 【当日の様子】



#### ◇講師の方々の紹介



保育士、保健師等、様々な方々にお世話になります。

#### ◇保健師による性教育授業



奇跡的な命の始まりから、感動的な誕生までを学びます。

#### ◇赤ちゃん人形で練習



「首が据わっていない赤ちゃんは首に必ず手を据えてね。」

#### ◇赤ちゃんを迎える準備



赤ちゃんを迎える会場準備や、お迎えや教室までの案内も、すべて中学生が行いました。

#### ◇はじめましての会



待ち望んでいた赤ちゃんとの対面。なごやかな自己紹介の時間です。

#### ◇親さんとの交流会



自分の出産の時のビデオを見せてくださるお母さんがあり、生徒たちの目も真剣です。

## ◇赤ちゃんとのふれあい(抱っこ・ふれあい遊び)



「大事な赤ちゃんとの、ふれあいの時間です。みんなの一番いい姿を感じていただいて、お互いがお互いを大切にできる時間にしましょう。」社会教育課の服部敦子さんの言葉です。あちこちで、中学生たちが柔らかな赤ちゃんをそっと抱っこして、いとおしそうに見つめる姿、泣いている子を一所懸命にあやす姿などが印象的でした。

### 【参加者の感想より】



- 子育てはすごく大変で手がかかるけれど、それ以上に赤ちゃんはかわいいし、幸せなことや嬉しいことがいっぱいだと感じました。私も将来、赤ちゃんを産んで育てたいです。(生徒)
- 私は今反抗期で、親に迷惑をかけています。でも今日、私もこんなふうにみんなに喜ばれて生まれ、大切に育てられてきたのだなと思いました。親や家族との関わりをもっと大事にしていこうと思いました。(生徒)
- すごく楽しかったし癒やされました。赤ちゃんを通して、親さんが出産するまでのつらさや生まれてからの喜びなども伝わってきて、自分の親への感謝の気持ちをもつ機会となりました。(生徒)
- 心の優しい子ばかりで、たくさんかわいがってくれました。改めて出産エピソードを話して、初心に戻ることができました。子育ては大変で思い通りにいかずに落ち込む日もあるけれど、子どもの笑顔を見るだけで幸せになれるので、私もまた明日から頑張ろうと思うことができました。(母親)
- 普段関われない中学生の子たちの親への思いを聞いたこと、自分もまた反抗期を経て親になったときの心境を話せたこと等、とても有意義な時間になりました。はじめは愛想のよいわけではなかった男の子が一所懸命にわが子をあやしてくれる姿が、ほほえましかったです。(母親)
- 10年前、自分が保育士をしていた頃に担当していた子たちが今日の中学生で、あの頃4歳だったのにもう将来を考える年齢になったのかと、感無量でした。最後の合唱のプレゼントは、懐かしさと感動で涙があふれてたまりませんでした。(母親)

### 【取材を終えて】



郡上市ではこの事業のスタッフとして、子育て支援センター、保健師、社会教育課、乳幼児学級担当者、ファシリテーター養成講座修了者、子育てサポーター、母子成人保健推進員など、多くの方々のご協力を得ながら、毎年開催されています。今後も、子どもたちの健やかな成長や、日々子育てに頑張っているお母さんたちのためにも、この事業が継続して行われることを期待しています。



# 心に伝わる言葉

## ～人とのかかわりの糸をむすぶ～



### 企業内家庭教育研修の取組紹介 ～美濃市役所～

#### 【開催の目的】



美濃市役所ではすべての職員が活躍できる職場環境づくりの一環として、家庭でも職場でも地域でも周りの人と温かい関係が結べるような「言葉がけ」や「かかわり方」を学ぶ研修を実施しています。今回の研修会は、すべての職員が参加できるように、研修を2日間の午前・午後に分けて、合計4回開催されました。

#### 【研修会の概要】



<開催日> 令和5年12月12日(火) 13日(水)

午前午後 合計4回実施。

<研修名> 「心に伝わる言葉」

～人とのかかわりの糸を結ぶ～

<研修内容>

- 1 これからの未来に求められる人材とは
- 2 人とのかかわりの糸を結ぶために ～傾聴と共感～
- 3 「心に伝わる言葉」を生み出すために ～受容と承認～
- 4 思い込みは言葉から変える ～言葉が変われば、行動が変わり、未来が変わる～



講師は家庭教育専門職の塚原が務めました

#### 【参加者の感想】



- ・何気なくかける言葉によって、相手の感じ方が大きく変わる・・・コミュニケーションのポイントがよく分かりました。普段は仕事を優先し、なかなか家庭教育について学ぶ機会がないため、今回の研修はとても新鮮で楽しい時間となりました。(40代男性)
- ・「家族の人生はネットには載っていない」という言葉が心に残っています。自分の経験や生き様を子どもに話してやれる親になりたいと思いました。(50代女性)
- ・言葉のやりとりがおろそかになっていることに気づくことができました。ぜひ、学校の講演会など親子で参加できる場所で、子どもと一緒に話を聴きたいと思いました。(40代女性)
- ・今日の研修は仕事だけではなく、人生においても大切なことだと感じました。「正解」ではなく「納得解」がほしいだけ・・・というキーワードが強く心に残っています。(20代男性)

#### 【主催者(美濃市役所秘書課)の感想】

4回の研修会には合計176名の職員が参加しました。家庭だけではなく職場においても、円滑な人間関係を構築する上で、非常に参考となる内容でした。積極的にメモをとったり、研修後に資料の共有を求めたりする受講者も多く、大変良い研修会となりました。